



とのまるくん  
(殿ダムイメージキャラクター)

因幡のくにの夢づくり

# 「とのまる通信」

第37号  
2007・12・1

発行：国土交通省中国地方整備局 殿ダム工事事務所 鳥取県鳥取市国府町宮下1221 TEL)0857-29-9570 FAX)0857-29-9612 <http://www.cgr.mlit.go.jp/tono/index.html>

## 今年を振り返る

今年、殿ダムの本体（堤体）を造る工事に着手し、本格的なダム建設へ向けての一步を踏み出した節目となる年でした。  
また、鳥取市文化財団が、『殿ダム展』を企画し、袋川周辺の歴史や文化と共に、殿ダム建設についての最新情報や今後の殿ダム周辺の活用などの情報を市民の皆様にお伝えする市民文化情報展が開催されました。  
今回は、殿ダム工事の変化の様子と共に、今年の出来事を振り返ります。

(写真は10月31日の殿ダム本体建設現場上空の様子です)



殿ダム展に多くの方がご来場くださったな～



起工式を行ったな～



多くの方に現場を見ていただいたな～

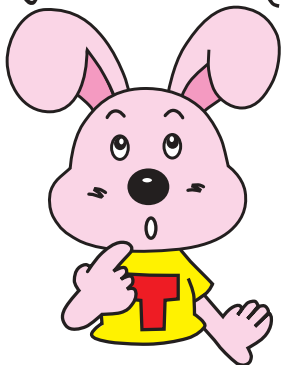


現場見学会にて重機に触れてもらったな～



起工式の蹴入れ式。工事が無事に行えますように！

いろいろあったな～



殿ダム展開催初日、多くの方にご来場いただけるが、心配だったな～。



# 殿ダム起工式を行いました

本格的に殿ダム本体(堤体部分)の工事を始めるにあたり、関係機関・関係者の皆様にご紹介することなどを目的として、起工式を今年6月27日に現場にて行い、この日からダム本体工事を開始する運びとなりました。

式典には平井伸治鳥取県知事や竹内功鳥取市長、甲村謙友中国地方整備局長を始め、多くの関係者の他、移転者や地元関係者の方々など総勢約200人の方にご出席していただきました。



式辞を述べる甲村謙友中国地方整備局長。

起工式以降、  
いよいよ、本格的に  
殿ダムの本体工事を  
開始しますよ！



鍬入れ式の様子



◀▲セレモニーとして、発破を行いました。



殿ダム本体建設現場にて式典を行いました



総勢200人にお集まりいただき、起工式が行われた式典会場内。



国府町いなばの傘踊り保存会により、傘踊りを披露していただきました。

式典では多数のご来賓の方よりご挨拶をいただきました。その中から3名の方のご挨拶の一部をご紹介します。

## 甲村謙友中国地方整備局長のご挨拶



昨今の異常気象に伴い、極端な気象現象が起こるようになってきています。昨年7月には米子、松江で大雨が降り、松江市などが浸水しました。また、今年は雪が少なかった上に、春も雨が非常に少なく、中国地方全体で平均の約70%しか降っていません。洪水や渇水において鳥取も非常に心配です。(中略)

殿ダム本体工事の入札にあたりましては、工事の品質、工事のコスト、工事の期間、周辺環境対策を総合的に評価して、一番いい提案をいただいた会社を選定致しました。

1日でも早くダムを完成させ、ダムの機能を早期に発揮して参りたいと考えています。また、ダムの周辺整備につきましても、地域の皆さんとお話しをしながら、ダムができた事により、さらに地域も発展するような形で整備を進めて参りたいと思っています。

## 平井伸治鳥取県知事のご挨拶



振り返ると、昭和43年の直轄の指定以来、すでに40年が経過しています。殿、拾石の皆様には全戸の移転、また、神護、楠城では一部移転と、大変なご協力をいただき、本当に感謝の念にたえません。(中略)

鳥取県は鳥取自動車道の開通を控えています。産業の発展を図らなければなりません。現在、工業用水は、暫定的な水利権で行っており、水が少ないときには産業も止まってしまうのが弱点です。殿ダムが完成すると、安定的な水の供給体制が整うわけです。治水はもちろんのこと、生活用水や発電といった効果もあり、殿ダムが果たす役割は大きいものがあります。(中略)

殿ダム周辺の付け替え道路も概ね出来上がり、そばの館や茅葺き交流館など地域振興の拠点も整ってきました。今後も地域づくりを応援し、地域の発展へとつなげていきたいと思っています。

## 竹内功鳥取市長のご挨拶



千代川は多くの市民の皆様にとり、ほぼ完成された河川だという認識が強いですが、実はまだまだ危険な箇所があり、緊急な工事も積極的に進めていただいております。しかし、上流の袋川の殿ダムで水をせきとめていただく事により、大雨が降った場合の下流への被害を防止することへの期待は非常に大きいです。

その他、利水面でも工業用水1日3万トン、水道用水1日2万トン、水力発電1,100キロワット(約1,000戸分)など、鳥取県東部の将来の発展において大きな力を与えてくれます。

また、鳥取自動車道の開通が2009年と間近に迫り、観光や産業に関わる人や物の動きが盛んになります。鳥取市の中の古都である国府と日本の古都をもつ京阪神をつなぎ、活性化をはかっていきたいと思っています。

■お3方とも、これまでダムに関係してこられた地権者、周辺住民、各機関の皆様方のご理解とご協力に心から感謝を申されていましたが、紙面の関係上割愛させていただきました。

# 殿ダム本体基礎掘削工事を開始しました

ダム本体(堤体)を築くにあたり、まず最初に基礎掘削を行います。これはダム本体を築く場所を最も強い地盤にするため、底の面と両岸の地山を硬い岩盤まで掘り進める作業の事で、最初に表土や比較的軟らかい岩などを掘り、次に硬い岩盤は火薬を使って掘削を行います。その際出た土砂や岩石は、ダム本体の盛り立て材料として使えるものは仮置場へ、使えないものは土捨場へ運びます。その時に巨大な重機を使い、作業の効率化をはかっています。



こんな大きなブルドーザーで作業しています！

## 殿ダム本体工事 今年8月の様子



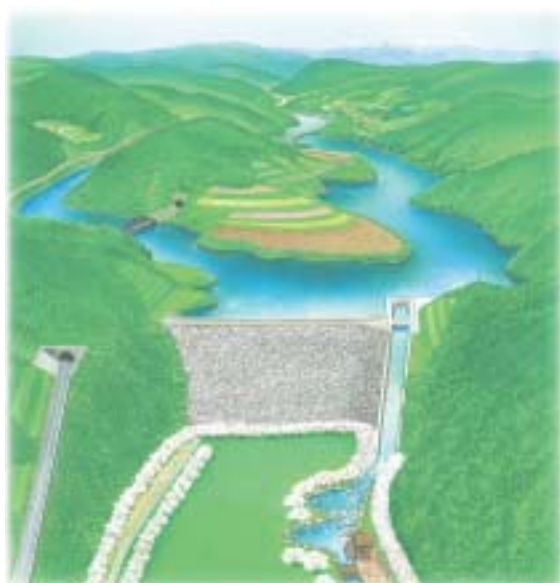
付替県道から眺めた殿ダム本体工事現場の様子。①地点を掘削し、出てきた土石をブルドーザーで下に落とします。②地点に落とされた土石は、ショベルカーを使い46トンダンプに乗せ運びます。

### 今年6月



殿ダム本体工事現場の移り変わり

### 今年11月



【殿ダム完成イメージ図】

上の写真は殿ダム本体建設現場の付替県道から見える対岸側の山の様子です。基礎掘削工事が始まった6月に比べ、11月はかなり基礎掘削作業が進んでいます。

皆さんも工事の進捗状況など、見学に来てくださいね！(今年12月末には展望台を建設する予定です。詳しくは6ページの殿ダムニュースをご覧ください)





# 『殿ダム展』が開催されました

殿ダム本体工事  
今年10月の様子

殿ダム本体

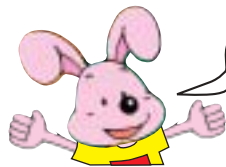


殿ダム展のイベント企画「殿ダム現場見学会」にて、殿ダム本体建設地に立つ参加者の皆さん。



9月29日から11月4日まで鳥取市歴史博物館にて行われた『殿ダム展』は、**6,060人ものご来場者があり**、多くの皆様にご観覧いただく事ができました。この「殿ダム展」では、パネルや模型の展示だけでなく、殿ダム建設を長期に渡り見続ける写真家池本喜巳氏の写真や画家福田典高さんの絵画など、殿ダム周辺に係わる作品なども展示されました。今後とも殿ダム建設に関心を持っていただくと共に、ご理解ご協力をお願いします。

殿ダム展



わ～すぞいん!  
ご来場、ご参加ありがとうございました!



画家福田典高氏の展示会場の様子



殿ダム本体工事現場のライブ映像を中継しました。



◀◀ 袋川の歴史や、殿ダムに関する情報を展示した会場の様子。



写真家池本喜巳氏の展示会場の様子



殿ダム展のイベント企画「殿ダム周辺ウォーキング大会」に約500名の方が参加され、周辺の様子やダム本体を高い位置から眺めるなど、思いいに楽しめました。(①②③の写真)



殿ダム完成後、殿ダム周辺がどのようになるか、現在計画されている内容を展示しました。



袋川の洪水や濁水の歴史、国府町の風土資産などを短編映像に収録したビデオを会場内で放映しました。

## 中河原地内に新しい橋を造る工事 (殿ダム中河原2号橋上部工事)を行っています!



宇部工業(株)の藤井佳彦課長

付替県道は、現在殿地区で大きなS字を描く形で迂回するルートになっていますが、付替県道と新井地区を結ぶ新しい道路を造り、最短距離で走行できる道路を建設中です。この度は、その道路内にできる橋の上部工(ケタの部分)の建設についてご紹介します。どのような工事を行っているのか、工事を請け負う宇部工業(株)の藤井佳彦課長にお話を伺いました。

### どんな橋がいつ頃できるの?

今回請け負った工事は、地上から約15メートルの所に、全長33.5メートルの橋の骨格(橋げた)を12月末までに完成させるものです。その後、他業者が橋げたの上の部分にコンクリートの床を敷き、当面は工事用道路として利用する計画となっています。

### どんな手順で橋げたはできあがるの?

【主な手順】

#### ① 設計図をパソコンで確認

設計図を元に精密な寸法を割り出し、CAD(パソコンで作図するソフト)で4本の個々の橋げたなどを描き、細部まで検討チェックを行い製作します。



CADで図面を描く作業の様子



設計図の一枚

#### ② 材料の手配

橋げた材料(耐候性鋼材)の中でも特殊なサイズを製造する会社は全国に4箇所しかなく、受注生産のため、鋼材の入荷に発注後約3~4ヶ月待つ事になります。



溶接作業の様子



#### ③ 切断・加工・組立・溶接

設計図を元に、材料を切断し角を丸く加工したり、部分的に組み立て、溶接などを施す作業を、山口県の本社工場で行います。



仮組立作業の様子

#### ④ 仮組立

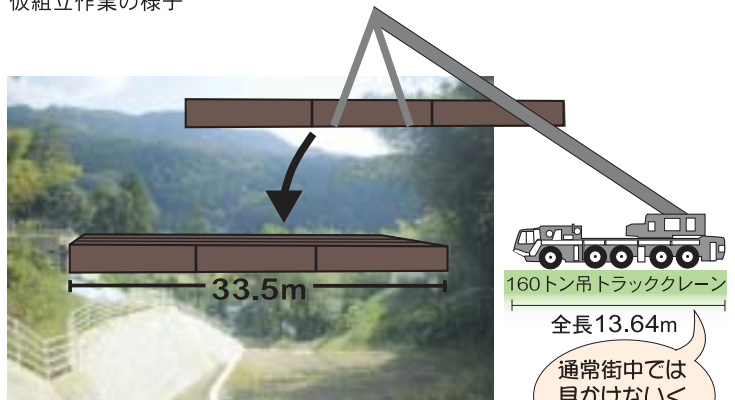
中河原の現場に設置する前に、工場では仮に組み立て、寸法通りに仕上がっているか確認します。

#### ⑤ 現地へ運搬

運べるサイズに分解し、現地に運びます。

#### ⑥ 現地で組み立て(地組み)設置

現地で再度組み立て、橋の全長約33.5メートルの形にします。そして、大型の重機160トン吊トラッククレーンで橋げたを吊り、あらかじめ造っておいた橋台に乗せ設置し、正式なボルトで締め完了します。



橋げたのイメージ図。茶色の部分が橋げたです。



## どんな事に気をつけているの？

確かな技術で高精度な製品を仕上げる事はもちろんですが、工事をする過程で地元の方にご迷惑をおかけしないよう、工夫しています。

### 工夫 騒音対策に努めています！

材料と材料を組み合わせる際、ピンを差し込みますが、今迄はハンマーで叩き、大きな音を出していましたが、この度、専門の機械を使うため、小さな音で作業を進め、騒音対策に努めます。

この他、橋げたの運搬方法や運搬時に出るほこりが出ないように工夫をしています。



## 殿ダム NEWS 1

### 殿ダム本体工事現場を望む展望台を作ります！

殿ダムでは本体工事が本格化しており、多くの方が殿ダム工事現場を訪れて下さっています。そこで、この工事現場を安全にご覧いただくため、展望台を12月末までに完成させます。

この展望台は、主要地方道鳥取国府岩美線の殿トンネル入口近くに設置し、ダム本体工事現場の様子を一望していただけるようにしますので、ぜひご利用ください。



## 殿ダム NEWS 2

### 袋川絵画コンクール受賞者発表！

第10回『袋川絵画コンクール』に今年も多く的小学生から作品が寄せられました！その中から優秀賞3点、審査員特別賞3点、入選17点が選ばれ、『殿ダム展』会場である鳥取市歴史博物館にて表彰式が行われました。

なおこの度、入賞作品の展示も『殿ダム展』会期中、鳥取市歴史博物館ロビーにて展示させていただき、多くの方にご覧いただくことができました。作品を寄せて下さった皆さん、ありがとうございました。

鳥取市歴史博物館ロビーにて展示しました



#### 〈低学年の部〉

優秀賞	宮ノ下小学校	2年	森本如葉
審査員特別賞	鳥取大学附属小学校	2年	米澤尚宏
入選	富桑小学校	2年	嘉藤亜美
"	富桑小学校	2年	岸田一愛
"	醇風小学校	1年	梶川日菜子
"	日進小学校	1年	古井秀幸
"	稲葉山小学校	1年	杉森伸晴
"	岩倉小学校	2年	西川弘毅

#### 〈中学年の部〉

優秀賞	国府東小学校	4年	中林彩夏
審査員特別賞	国府東小学校	4年	大磨正美
入選	浜坂小学校	4年	加藤菜々恵
"	醇風小学校	4年	梶川虎太郎
"	遷喬小学校	4年	守家いつみ
"	美保小学校	4年	松村ゆ花
"	国府東小学校	3年	桜田隼
"	宮ノ下小学校	3年	坂口晴香

#### 〈高学年の部〉

優秀賞	国府東小学校	5年	安本三華
審査員特別賞	久松小学校	6年	岩井彩華
入選	宮ノ下小学校	5年	金澤知鈴
"	宮ノ下小学校	5年	岡本悠
"	日進小学校	6年	三木冨理
"	国府東小学校	6年	西尾理織
"	中ノ郷小学校	6年	西村竜



展示の様子



優秀賞 森本如葉さん(2年)の作品



優秀賞 中林彩夏さん(4年)の作品



優秀賞 安本三華さん(5年)の作品

### お問い合わせ & お便りのあて先

国土交通省 中国地方整備局 **殿ダム工事事務所**  
とのまる通信編集部  
〒680-0151 鳥取県鳥取市国府町宮下1221  
TEL)0857-29-9570 FAX)0857-29-9612  
<http://www.cgr.mlit.go.jp/tono/index.html>



再生紙を使用しています

